

議会だより

平成30年 3月1日
第59号

CONTENTS

12月定例議会概要	2P
議会報告会案内	3P
常任委員会	4P
議会活動報告	5P
一般質問	6～13P
新成人のひとこと	14P

いぐさラケットを使った
卓球大会、中学生が主催



水道事業の安定経営のため 水道使用料金の値上げを可決

12月定例議会は12月12日から19日までの8日間の会期で開催しました。平成29年度の補正予算や条例の制定等26議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

条例の制定及び改正

- 早島町予防接種健康被害調査委員会設置条例の制定
 - 早島町地域包括支援センター運営協議会設置条例の制定
 - 早島町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定
 - 早島町特別支援教育支援委員会設置条例の制定
 - 早島町立学校食育推進委員会設置条例の制定
 - 早島町名誉町民に関する条例の一部を改正する条例
 - 非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
 - 早島町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
-
- 早島町事務手数料条例の一部を改正する条例
 - 早島町民総合会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
 - 早島町水道使用条例の一部を改正する条例
 - 早島町まちづくり協議会設置条例を廃止する条例
 - 早島町営住宅入居者選考基準審議会条例を廃止する条例
 - 早島町営住宅管理条例の一部を改正する条例
 - 平成29年度早島町一般会計補正予算(第6号)について
歳入歳出それぞれ6,832万4千円を追加し、46億3,834万7千円とする。

一般会計補正予算の主なもの

- ・ 保育園3園の保育士処遇改善を図る運営委託費(1180万円)
- ・ 舟本・弁財天排水機場改修に向けた調査点検費(360万円)
- ・ 国の要請に伴う全国瞬時警報システム(Jアラート)の新型受信機購入費(270万円)

補正予算7201万2千円を承認

専決処分

コミュニティバス事故損害賠償金支払い(10万円)

12月定例会 採決状況

○賛成 ×反対 「欠」欠席 議長(福田 健)は採決に加わらない。

議案	小池 宏治	平岡 守	佐藤 政文	佐藤 智広	古田 敬司	松森 京子	真鍋 和崇	佐藤 眞治	浅沼 一徳	議決結果 (賛成：反対)
議案第51号 早島町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	可決(7:1)
議案第52号 早島町事務手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	可決(7:1)

他、議案は全会一致で可決。

●平成29年度早島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ9,178万2千円を追加し、17億6,198万3千円とする。

●平成29年度早島町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)について

歳入歳出それぞれ6,477万8千円を追加し、11億522万円とする。

●平成29年度早島町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ147万5千円を追加し、5億4,284万8千円とする。

●平成29年度早島町水道事業会計補正予算(第2号)について
人件費128万3千円を追加する。

追加議案(5議案)

●人事院勧告による人件費関係の条例の一部改正及び各補正予算

専決処分の承認

●公用車と相手方自転車衝突による和解及び損害賠償額決定の承認

人事案件

●早島町行政不服審査委員会の選任

栗坂 祐子 新任
尾崎 照美 新任
安田 寛 再任

早島町水道使用条例新旧対照表

(用途及び料金)
第24条 料金は、次の表により算定した額の合計額に100分の108を乗じて得た額とする。ただし、その額に1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てた額とする。

用途	区分	使用水量	現行料金	改定料金
家事 営業用	基本料金	1箇月 10m ³ まで	616円	770円
		1箇月 10m ³ を超え30m ³ まで	83円	103円
	超過料金 1m ³ につき	1箇月 30m ³ を超え50m ³ まで	94円	117円
		1箇月 50m ³ を超え100m ³ まで	105円	131円
		1箇月 100m ³ を超えるもの	116円	145円
臨時用		1m ³ につき	210円	262円

【テーマ】 ①子ども・子育て ②高齢者福祉 ③自治会活動と地域ボランティア ④産業・地域振興

あなたが描く 創造する 10年先の早島は？

3月25日 日 13:30~

まちづくりワークショップ

それぞれのテーマ毎にグループに分かれ、10年先に『わが町 はやしま』はどうあるべきか？ 問題・課題を絞り込み、みんなで解決案を模索します

開催場所：ゆるびの舎(早島町町民総合会館)2階研修室
参加資格：どなたでもご参加いただけます。

【お問い合わせ】早島町議会事務局
TEL 482-2608(9:00~17:00 除土日祝)

平成30年1月29日より全国のコンビニで印鑑登録証明、住民票の受け取りが可能に
【総務厚生常任委員会】

議案審議の主なもの

◆早島町予防接種健康被害調査委員会設置条例の制定について

Q 今回この委員会ほか、設置条例が多く提出されているがなぜか。
A 職員の知識が不足、要綱から条例に変更した。

◆早島町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

Q 年間印鑑登録証明申請件数いくらあるのか。
A 3966件。

Q コンビニで受け取りはいつから。
A 平成30年1月29日から。

◆早島町まちづくり協議会設置条例を廃止する条例について

Q 住区を設置した時の条例は廃止となるが、新しいまちづくり条例の考えは。
A 今後必要があれば新たに設置していく。

◆平成29年度早島町一般会計補正予算(第6号)について

歳出
Q 中小企業応援事業補助金の80

万円は。

A 今後起業予定のある2件分。

Q 保育所委託料は何か。

A 国の処遇改善策で今回予算計上した。

Q 超過勤務手当が増大しているが。

A 事務量の増加と複雑化のため時間外手当がふえた。

Q コミニティバス運行委託料の300万円は。

A バスの故障対応、修理費。

その他 早島町地域包括支援センター運営協議会設置条例の制定について、早島町名誉町民に関する条例の一部を改正する条例について、非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、早島町事務手数料条例の一部を改正する条例について、平成29年度早島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について、平成29年度早島町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)について、以上の6議案については全会一致で可決すべきものと決した。

水道料金改定に伴う説明会を開催
【建設文教常任委員会】

議案審議の主なもの

◆早島町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

Q この改正の内容は。

A 農業委員が公選制から首長専任制へと制度変更に伴い、定数の条例を行うもの。

Q 現在定数は12名だが改正後の定数は。

A 農業委員は10名となり農業委員会の議決権を持たない農地利用最適化推進委員が新たに2名加わる。

◆早島町特別支援教育支援委員会設置条例の制定について

Q 特別支援教育支援委員会の委員構成は。

A 同委員は12名 支援学校長、小児科医、町立学校の代表、有識者等で構成される。

◆早島町水道使用条例の一部を改正する条例について

Q 水道料金の改定で、新たな負

担を求めることになる、改定の目的や先の展望など町民に説明を行うのか。

A 具体的な会場と時期は未定であるが、丁寧に説明していく。

その他 早島町立学校食育推進委員会設置条例の制定について、早島町町民総合会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、早島町営住宅入居者選考基準審議会条例を廃止する条例について、早島町一般会計補正予算(第6号)について、早島町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について、早島町水道事業会計補正予算(第2号)について、以上6議案は原案のとおり可決すべきものと決した。

陳情

日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択を求める陳情
【採択】

平成30年度予算編成に際し、要望書を手交



町長に要望書を手交

平成30年1月9日、中川町長に対して早島町議会で取りまとめた平成30年度予算措置等（予算要望・政策要望9項目）に関する要望書を手交しました。

宮崎県高原町議会が視察来町

平成29年11月17日高原町から議員5名、職員4名が健康福祉課の「保健事業への取り組み」について視察に訪れました。

高原町は医療費の抑制に向けて保険事業等の推進を図りながら、その対策を進めているとのことでした。

当町で取り組んでいる「健康チャレンジ大作戦」の事業内容・実績などが健康福祉課から報告され、活発な意見交換が行われました。



高原町議員との意見交換

住民に期待される議会とは？



研修会聴講

平成29年11月8日岡山県町村議会議員研修会が津山市内のホテルで開催され、議員8名が参加しました。講師に早稲田大学マニフェスト研究所中村健事務局長を迎え、「住民に期待される議会とは？」をテーマに講演がありました。

議員の活動は知っているが議会活動は知られていない、議会は議決責任があると同時に説明責任が伴うなど厳しい指摘がありました。改めて議員として住民から選ばれた代表であることを自覚する研修会でした。

平成29年10月～12月 議会活動一覧

12	5	4	4	3	December	27	22	21	20	17	16	10	9	8	November	6	October
火	火	月	月	日	12	月	水	火	月	金	木	金	木	水	11	金	10
12月定例会【～19日】	全員協議会	農業委員会	備南水道企業団議会	岡山自動車道付加車線設置事業着工式	【12月】	議会運営委員会	町村議会議長全国大会	岡山県町村議会議長会議長研修	地方自治法施行70周年記念式典	宮崎県高原町議会視察来町	全員協議会	農業委員会	100周年記念大会	岡山県岡山市民生委員制度創設	【11月】	議会広報研修会	【10月】



佐藤 眞治 議員

問 蛍光灯の廃棄は燃えないゴミとして、収集日に出してよいのか

答 不燃ゴミ収集ではなく資源ゴミで収集し環境保全確保に努める

問 蛍光管の収集方法は今のやり方でよいのか

答 不要になった蛍光灯などは、燃えないゴミとして収集日に出している。このやり方でよいのか。

副町長 不要となった蛍光灯は隔週水曜日の不燃ゴミで回収している。1本あたり6ミリグラムの水銀が含まれている。水銀の人為的排出削減については将来的に環境中の水銀量を削減するために極めて重要である。

水俣条約の発効を受け8月16日に水銀による環境の汚染の防止に関する法律の一部施行、10月1日に廃棄物処理法施行令の一部改正など水銀に関する取り組みが強化された。

回収業者には蛍光管は砕くことなく別に回収し、処分場で保管をし業者に渡すようにしている。割って入れることは避けてほしい。

問 水銀への取り組み強化収集方法は

副町長 蛍光灯には水銀を含むガスが封入されている。水銀自体は環境負荷物質として、ROHS（ローズ）指令による規制の対象ではあるが、蛍光灯を代替えできるほどの技術が確立されていないことを理由として、蛍光灯への使用は許容されている。

水銀の使用と輸出入を、2020年以降規制する水俣条約が、批



汚染が心配される処分場

准に向けた動きを見せている。規制が難しくなるようだ。蛍光灯内の水銀に対する対策はどのようなことを行っているのか。

副町長 10月1日から割らずに保管し、専門業者に委ねて処理をする方向に変更している。

来年度、7月ぐらいから毎週第3土曜日に蛍光灯・水銀入りの体温計・乾電池などのリサイクル回収を行い、割れない形での回収を考えている。

自治会、町内会長連絡会議やごみ減量化推進委員会等で徹底していく。また、チラシの配布等も今検討している。

副町長 一般家庭から廃棄される蛍光灯は、多くの自治体が燃えないゴミとして出しているが、環境意識の高まりとともに改善を求める声が上がってきている。

平均6mg/本と削減されているが「ゼロ」ではない。

環境保全の観点から専門業者に委託するのか、リサイクルできる専用の機械を設置する考えは。

副町長 蛍光管については専門業者に資源としてリサイクルし、大気中に漏れないような形で処理することを考えている。機械購入については、町民から



資源ゴミとして、収集される蛍光管

集める蛍光灯の数を見ながら判断したい。

水銀灯は小学校の体育館・公園・グラウンドの照明などで利用されており、製造中止されてもメーカーが保有する期間等があるので、その期間に間に合うよう交換していく必要がある。

現在市販されている蛍光管は基準をクリアしているので使用が可能と考えている。

地球温暖化防止対策の一環である二酸化炭素排出抑制の取り組みとして、蛍光管の使用数の多い施設や水銀灯を使用している施設においては順次LED照明に切り替えていく。

要望 順次LEDに変えるとか燃えないゴミの収集ではなく、資源ゴミの収集ということとされるよ。うだが、水銀が漏れないような対策をお願いする。



浅沼一徳 議員

問 障がい者福祉計画と地域包括ケアシステムの一体化の検討

答 重要な事業だと認識、総合的に支援体制の強化を図る

問 障害者福祉と地域包括ケアシステムとの一体化検討について

問 昨今、障がい者も施設から地域へという国の施策方針が顕著となりつつある。そのような中、

地域包括ケアシステムに障がい福祉計画を包含して策定している自治体、あるいは今後一体できる部分を検討しようとする動きも見受けられる。また国においても、地域包括ケアシステムを進展させ、障がい福祉や子育て支援など福祉



サービスを地域全体で支える地域共生社会の構築について検討が開始された。ぜひ取り組みむべきテーマと考えるが、一体化の検討について本町の考えは。

答 町長 国では、この計画の方針として地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進や障がい児サービス提供体制の整備などが掲げられており、本町も重要な事業だと認識している。

今後さらに関係課や関係機関との連携を図り相談支援体制を強化するとともに、国や他市町村の動向をみながら、子どもや障がい者、高齢者など総合的・包括的に支援できる体制の整備について検討する。

問 障がい者とその家族が安心して暮らせる地域づくりについて

人はひとりでは成長できないし、生きていけない。家族や友人、地域や社会など周囲の人の愛情や支えがあって生きていける。

ましてや障がいを持つ方々はどれだけの愛情や支えが必要か社会全体として考える必要がある。また障がい者の子どもを抱える親御さんは、子どもの将来に大きな不安を抱えており、地域社会としてしっかりと支え合うことが大切だが、どのように考え取り組んでいくのか。

答 町長 今後高齢化が進展することにより、障がい者ご本人の高齢化によるサービスの利用に関する問題や障がい者を支える家族の高齢化による介護負担、病気や障害、また障がい者ご本人や家族の就労など様々な問題が複雑化し増加することが予測される。ライフステージに応じた切れ目ない支援や地域生活支援拠点の整備、相談体制の充実、必要なサービスの創出など新たなしくみづくりを検討する。

要望 障害福祉保健計画の策定委員に障がい者援助に直接携わる関係者を加えていただき、さらなる福祉サービス等の充実、実施、推進を進めていただきたい。

その他に「障がい者の芸術文化活動の振興にどのように取り組んで行くのか」について質問しました。

SNS指導強化について

問 神奈川県座間市の事件を受け犯罪防止の取り組みを徹底するよう県教委から警告の通知がきたが、インターネットを介した犯罪被害から守るべく取り組みを今一度徹底するべきだがどのように取り組んでいくのか。

答 教育長 情報モラル教育で幼児期から中学校まで発達段階に応じ学活や道徳教科の授業の中で、体系的な指導に取り組んでいる。また家庭や地域にお願いすることを確認にし、参観授業や懇談会、広報誌などを通じて、SNS等のリスクや、家庭での使用時間や使用場所など親子で約束をつくり一緒に守ることの大切さ、フィルタリングの設定の重要性や家庭でのルールづくりの必要性など安心・安全な利用環境づくりに努める。また改めて保護者の理解と協力が得られるよう学校だより等で呼びかけていく。学校・家庭・地域が一体となり、正しい認識をもち、相手を思いやる心を育てていく。





真鍋 和 崇 議員

問

寄贈施設を活用し、どのように中心市街地活性化を行うのか

答

『知恵は現場にあり』地域の力で、地域活動の後押しとなるよう整備したい

問 中心市街地（駅前―役場、県道倉敷妹尾線沿線の町中心に位置する地域）の活性化について問う。

かつては大変なにぎわいを見せていた当該地だが、店舗数の減少が近年急速に進んでいる。

町は明治後期に建造されたであろう蔵の寄贈を受け、にぎわい再生の拠点にする提案された。町が多額の税金をかけ丸抱え、お膳立てをしても成功しない。

この地域には魅力ある中小規模のお店がたくさんある。まずはその人たちの力をかりること。

やる気のある若い人を集め入念に施設づくりを行われたい。

答 町長 早商振興会の御協力を仰ぎたい。現場の目線から課題を抽出し、求められる機能などの意見交換を行う。

民間水準の賃料とやる気を持った入居者を募集し、全体の収益性を確保する。

また、町が構造補強等スケルト

ンの整備を、入居者が内装等の整備を担当する。

観光センターの弾力的な運営を

問 町は積極的運営への転換として民間委託を検討しているが、例えば子育てや教育のサポートなど新たな機能を付与する場合、複雑な規制が障壁となる。《内閣府地方分権改革推進室》の『政策提案募集制度』を活用し、町民や早島を訪れる人たちの要望に応える弾力的な運用を目指してはどうか。

答 町長 今後民間事業者へ公募での事業提案等を進める中で、当該方式を活用した他自治体の事例も研究する。

国保税の増税するな

問 国保運営協議会において、10%〜17%以上増税の想定が示された。住民の生活状況も鑑み、福祉政策として一般会計からの繰り入れで国保税の負担軽減を。

答 町長 忍びない気持ちだが、負担と給付の中でやりくりをさせていたただかなければいけない。恒久的な激変緩和のため県内の統一保険料率の導入を要望する。

母子健康手帳の名称変更を

問 私は、3人の子どもの父親として、母子手帳を持って子どもの健康を確認していく。父母共同の育児を推進するためにも、名称の変更を。

答 町長 名称の変更を検討する。



時代に合った名称を
上：早島町 下：倉敷市

学童保育の《産休退園》見直し

問 産前産後の母親は安静が求められる。児童の継続した環境での成長のためにも、ぜひ見直しを

答 お母さん方の要望、現場の意見を聞き、検討する。

保育園の待機児解消のため町は保育士確保に全力を

問 待機児解消には保育士の確保が喫緊の課題だ。町に3つのことを提案したい。

- ① 保育士の確保を町長が先頭に。保育士養成校に対し直接町長が赴くこと。
- ② 保育士養成校に対し提供講座等を開催、検討を。当町の子育て環境や子育て理念を学生に向けて語ってはどうか。
- ③ 保育士確保のための処遇改善のさらなる充実を。月額の処遇改善加算の増額や、就職準備金や家賃補助など全国でも実施している。次年度からの単町での保育料の無償化は一旦凍結をして、ぜひその財源の一部で保育士のさらなる処遇改善をおこなうこと。

答 町長 待機児童検討委員会でどのような支援ができるか検討したい。



古田 敬司 議員

問 今後どのように公園管理を行うのか

答 水道、電気を含め無料開放する

問 平成28年4月、ふれあいの森公園管理条例が新たに制定された。シルバー人材センターへの管理委託、管理人常駐のもと有料化となり火気使用が可能、公園利用に拍車がかかるものと思っていた。しかし1年経過後、シルバーとの契約が解消され管理人不在のまま社会実験の名のもと、無料化。しかしキャンプ場利用に際して水道、電気の使用が不可となり、利用関係者から幾度となく苦情が寄せられていた。

当局はこれまでの経過、社会実



ふれあいの森公園キャンプ場周辺

験の目的、アンケート回収結果として今後どのように公園管理を行っていくのか。

答 町長 平成27年6月議会の質問に答え、バーベキューの利用を認めるための検討を行い、平成28年3月議会でも条例を制定し、利用促進を図ることとした。しかし、平成29年度の開園準備段階でシルバーでの対応ができなく、人材派遣センターでの管理人の募集も行ったが、応募者はなく料金徴収体制ができなくなったため、急遽無料化を決定した。8月まで場所のみの提供を行い、9月から10月は水道や電気を使えるようにした。アンケート調査の結果、公園の魅力を確認できたことや、水道利用を望む声、キャンプ場と駐車場の距離が遠いなどがあった。

今後、水道、電気などの施設も含め事前申請を行っていたいた上で無料開放とする。また3月議会までに条例の改正を行い来年度運用に向けて取り組んでいく。

問 公園駐車場の拡張ならびに駐車場入り口に取り付けている防犯カメラの劣化更新を要望する。

答 町長 開園当初は駐車台数10台程度であったが、平成18年度に拡張工事を実施した。今以上に拡張を行うと調整池区域に越境するため拡張は無理と考える。防犯カメラについては確認の上、修繕が必要であれば実施する。



登下校見守り活動

学童登下校見守り活動の支援を

問 この活動は子どもたちの登下校の安全を見守るため、地域から始まった独自ボランティア活動と認識している。昨今子育て世代の共稼ぎ、定年退職の延長など社会環境が変化し、活動に参加する方が少なくなってきたており、負担が

増している。

また活動が特定地域に偏っており組織化されていないため地区毎での取り決めて活動を行っている。服装は地域間で異なりベスト、ジャンパーなど購入は自治会を通じて補助金申請の上、対応している。行政はこの活動についてどのように受け止めているのか。

答 教育長 行政として見守り隊の活動が自治会の主体的な活動として根付いていただけようサポートしたいと考えている。

現時点では行政主導で協議会を立ち上げるといっても現在ある活動を通し、今まで以上に地域の輪を広げ、地域一体となった取り組みとなるよう広報を推進して行きたい。

答 町長 地域の方々にお世話になっており、本当にありがたく思う。役所が強制的にすることは無理がありボランティア、共助で地域の方々の協力を得ながらできればよいと考える。

問 改めて広報啓蒙活動の推進と必要に応じた予算措置をすべきではないか。

答 町長 今までやってきた経緯もあり、個別にお困りのところがあれば相談に応じる。



平岡 守 議員

問 矢尾グラウンドゴルフ場利用料の不公平感はどうする

答 開かれた場としてのゴルフ場、ご理解をいただきたい

問 矢尾グラウンドゴルフ場の現在の利用者数、うち年間パスポート利用者の人数、また平成28年度中の稼働実績をお尋ねする。

答 教育長 矢尾グラウンドゴルフ場の年間稼働率は、平成28年度



利用料の不公平感が問われる矢尾グラウンドゴルフ場

は254日の開場のうち、一般利用者は2805名、年間パスポート利用者は9271名で、約1万2,100名の方が利用。27年度は、約1万4000名。28年度は芝生張替えのため4・5月の2か月間を休場としたため少ない。開場254日のうち雨天等で利用者がなかったのは2日のみ。

問 町内、町外の方等の利用者数、利用率はどの様になっているのか。また年間パスポート利用の町内、町外の方の人数も合わせて尋ねる。

答 教育長 平成28年度の実績は町内の利用者は7136名、町外の利用者は4940名で、6割が町内、4割が町外利用者だった。年間パスポートは町内6546名、町外2725名。

問 町内様々な施設が該当するが、特に利用率が高く、一番問題視されているグラウンドゴルフ場を中心に尋ねる。この施設の利用料は安価で、使いやすく人気

があり、町内外から利用者が絶えずなく、施設を運営する側からはありがたいことと思う。そのなか、住民の方々からは納税利用者と、税金を納めていない町外利用者とが同じ使用料と言うのは、納得いかない。不公平であるとの声を聞く。この声にどう答えるのか、ほっておけばよいと思うのか、またお茶カフェ等で理解を求めるよう、説明をしているとか聞くが、お茶カフェ等で理解を求め、行っているからよいというものではない。他市町村のグラウンドゴルフ場では約半数が同一料金、そして約半数が自治体内利用者と自治体外利用者で使用料を変えていて、町外利用者の一日当たりの使用料は50円から200円アップとなっている。早島町の財政の問題でなく、特に利用者にとっての町民の住民感情である。行政は常に平等、公平な観点に立ち物事を進めていかなければならない。今後これらの料金改定の考えはあるのかお尋ねする。

答 教育長 社会教育委員会で見をいただき、検討し昨年度はこれまで同様に同一料金で考えていた。当初の目的が他市町村に開かれた場としてのグラウンドゴルフ

場との思いであり、御理解をいただきたい。



プレー中の利用者

問 今後これら利用料金改定について議論するのか、また議論する必要がないと考えるのであれば住民感情を引き起こさないよう努力が必要と思うがいかがか。

答 教育長 そのような声が大きければ再度検討していく。



佐藤 政文 議員

問 観光センターの有効活用を問う

答 貸し館と指定管理者制度導入で
住民サービスの向上を図る

問 観光センターは、早島町の観光情報、歴史的資産並びに産業情報等を広く発信し、早島町の活性化と人、情報の交流を図るために、国の町づくり交付金制度を活用して、平成22年3月にオープンした。平成29年12月5日の全員協議会において、観光センターの積極的な活用に向けた運営方針の見直しについて町の方向性が示され



観光センター全景



北から見た観光センター

た。運営経費節減のために指定管理者制度にする方針を伺った。現在、東蔵を一般にも開放していただけのようになり、情報発信施設としては一歩前進かなと思う。よいことではあるが、実情は展示団体で展示品の管理をしなくてはならないのが、利用しにくい大きな一因ではないか。町長も新たな目線での運営の必要性も強く感じて

おられ、指定管理者制度の導入検討も具体的に計画し、町当局も消極的な運営から、人を集め、交流を創出する積極的な運営に転換することのこと。観光センターを活用して町の活性化に努め、観光センターが中心になり、早島町の観光情報、歴史的資産並びに産業情報等を広く発信し、早島町の活性化と人、情報の交流を進めるべき。

しかし、指定管理者はすぐには決まらないうちで、例えばお試し期間という形で施設を開放し、アマチュアの作品展示に活用してはどうか。グループに現在は利用制限しているが、個人にも門戸を広げてはどうか。

展示作品管理をなくしてでも、利用促進すべきだと思う。

答 町長 パン工房撤退後の東蔵は貸し館にすることで交流促進と、賑わいの再生をしたい。指定管理者制度の導入で住民サービスの向上を図り、施設の持つ機能を十分に生かし、多くの人に利用していただくことが導入の大きな柱になると考える。

**冬季早朝の
カーブミラーが曇り危険**

問 冬場の早朝、カーブミラーが曇って非常に危険な箇所が町内で見られる。早急な対応が必要だ。あるところのカーブミラーは、ミラー上部のカバーが壊れていて、より曇りが激しい。町としての対策はどのようなものか。

答 町長 年数経過と共にカーブミラーの鏡面が劣化して見にくくなっている。古くなったカーブミラーについては、今後曇り止めの特殊加工がされているカーブミラーに順次交換する。



破損したカーブミラー



佐藤 智広 議員

問 SNS及びICT活用による
防災体制の整備は
SNSのスキルの向上と
防災拠点の環境整備

情報伝達手段としてのSNS

問 昨年の総合防災訓練では、情報伝達手段としてSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス・facebook）を活用。その結果「避難場所や住民の状況がリアルタイムで確認できる等、非常に効果的なメディアであることは認識できた。今後は他の自治体の例も踏まえ研究していくつもりだ」という、一定の評価をしている。

しかし、今年の9月24日に実施された防災訓練では、SNSが



SNSで災害時の様々な情報を入手することもできる

まったく利用されていないのはなぜか。

答 副町長 SNSを軽視したわけではなく、今年度は防災行政無線が初めての運用であったため、結果的にこうなった。次年度以降は、復活させたい。

問 SNSを活用するにはある程度のスキルや慣れが必要だ。以前副町長は「担当する職員を含め勉強を進めていく」と答弁している。行政側もそうだが、町民にもSNSの講習や説明会の場を設けるべきではないのか。

答 副町長 今後町内会長・自治会長・行政連絡会議等があるので、ある程度のスキルや知識を持った方に、参加を呼びかけ、地域での情報リーダー的な存在になってもらいたい。

フリーWiFiの整備

問 ICTインフラの中でも災害に強く、地域活性化のツールとしても有効なWiFiは、電話

回線が利用できない場合でもインターネットにアクセスしやすい。またスマートフォンやタブレット等、WiFi利用が可能な端末の急速な普及で、災害時でも効果的に情報を受発信できるようになった。

そこで質問だが、平成31年を目途にフリーWiFiの整備をするということであったが、前倒しできないのか。

答 副町長 防災拠点の環境整備という観点から、小中学校体育館、県立支援学校体育館、幼稚園遊戯室、さつき壮、いぶき壮、西コミュニティハウスの7拠点について、できれば来年度に予算計上したい。また各公民館への設置についても今後、検討していきたい。

小規模企業振興条例の制定

問 全国で23の市町村が単独で、小規模企業振興に関する条例を制定している（平成29年9月時点）また現在、県内の市町村でも小規模企業振興条例制定の動きがあるが、町はどのように考えるのか。

答 町長 小規模企業者を含む中小企業の振興を図るうえでも、今後、商工会ともよく話をして検討したい。



働き方改革は、大きな課題

職員の超過勤務について

問 水曜はノー残業デー。残業は原則8時までと言いつながら、月80時間を超える勤務や15ヶ月連続45時間以上の超過勤務が見られる。

時間外労働の削減に向けて組織全体で取り組んでいるとのことだが、その成果は出てきているのか。

答 町長 働き方改革は官民を問わず、大きな課題。

会議は基本的に1時間〜1時間半。朝礼、終礼の実施。出張は原則2人で行くのではなく1人で。さらに課長会議での業務改善の指示等をしているが、なかなか進まないのが現状だ。

根本的に仕事の内容を見直しをして、生産性を高める必要がある。そのためには、どうすべきか総務課で検討中である。



小池 宏 治 議員

問 将来を見据えた本町のまちづくり構想の優先順位は

答 大学の先生や基礎資料を中心に検討している

問 本町の将来を見据えた早島町のまちづくり基本調査を受けての計画で、1つは早島駅から役場への新定住促進地域、2つめは早島町の歴史・文化ゾーンの形成、3つめが広域高速網のクロスポイントの特性を活かす、4つめが農業の玄関口の創出と産官学の連携という4つの大きな目標を40年間かけて達成とあるが、本町の現状からまず何を優先順位として取り組み、展開されるのか。



早島駅前周辺

答 町長 現在の町はこうで、これから先については、大学の先生を含めて基礎資料を中心に検討しているのを1番という時期ではない。

問 地方創生という事業は5年の期間なので、地方創生交付金がいだけるのは平成30年度までだが、現在本町がその創生交付金を幾らいただいたのか。

答 まちづくり企画課長 最初の地方創生先行型と推進交付金合わせて5100万円。

問 将来を見据えての4つの方向については、第2次の総合計画から第3次第4次の中にほとんど盛り込まれていると私は思うが、第2次から25年経過し、駅前になきな道路と観光センターはできていながら、駅の形や歴史や文化財などほとんど手が付いていない。その原因や問題点をどうお考えか。

答 町長 駅も調整区域なので今、立地適正化計画を策定中で、調整区域から市街化に転換しよう

としている。

問 第4次総合計画の委託料について、佐藤町長の時600万円の中戸町長の見直し委託料が約1000万円合わせて約1600万円かかっている。委託任せだけでなく、今まで積み重ねてきた計画を見直すなどもっとやり方があったように思うが。

答 まちづくり企画課長 改定の第4次の作業については、職員で第2次第3次を見つめ直し、今までの総合計画に比べると職員の手づくりによる総合計画になっている。

問 町長も長い間本町の職員だったから、第2次の計画の中で早島駅のグレードアップのことや第3次の早島駅のゲートウェイ構想のことは知っておられる。同時に第2次の時に駅前にあった売店の購入ができなかった件や駅前の道路が通り難い件を議会から提案があったことを御存知だったと思うが、なぜかお金がないからと断られた。もう少し周りに相談すべきではなかったか。

答 町長 お金がないのではなく、計画がないからと申した。

問 早島町の創生総合戦略5年間の内もう3年たった。地方創生本

部はいつ立ち上げて、構成員は何人で委員会を何回開催されたのか。

答 まちづくり企画課長 創生本部の立ち上げはまだで、これから評価ができる状況になってから外部の人選や中間評価に向けて取り組みたい。

全町的に取り組んだ健康づくり元年からの進捗状況は

問 健康づくりや健康寿命の延伸は本町の喫緊の課題だ。健康づくり元年からの3本柱のこれまでの進捗状況は。

答 病気の早期発見・生活習慣病予防など健康チャレンジ大作戦の事業を行っている。

問 健康づくり対策の効果が一朝一夕には難しいが、本町にはなぜ町民体育館もプールもないのか。県下27市町村の中で3町村しかない。財政的にはよいと思われているのになぜか。

答 町長 よい意見をいただきたい。私も健康づくりには町民体育館が必要だと考えている。また南運動広場も借地なので防災機能を備えた運動公園、町民体育館をス皮ード感をもって対応していきたい。

新成人のみなさん! おめでとうございます!



成人式実行委員会の取り組み

早島町の成人式は、実行委員会を組織して企画・運営されており、今年は6人の新成人が何度も会議を重ねて準備を進めてきました。当日のアトラクションでは、小・中学校時代の懐かしい写真を使ったスライドショーを上映後、6年生の時に作ったタイムカプセルを開け、20歳の自分にに向けた手紙を披露しました。さらに、恩師の先生も登場され、会場は大いに盛り上がりました。



新成人の抱負・決意



磯村 真人

周りの方々に支えられて今回無事新成人になることができました。少しでも恩返しできるよう大人として頑張っていきたいと思います。



豊島 晃紀

無事成人式を終えることができ、また皆の笑顔も見れ、やってよかったと感じました。これから先、成人として手本となる行動を心がけたいと思います。



澤田 知也

早島で育ち、今日成人式を迎え大人の仲間入りを果たしました。これからも1人の大人として社会に、早島町に貢献していきたいと思っています。



平田 聖絵

新成人として立派な大人になれるよう頑張ります。支えられる側から支える側として社会に貢献していきたいです。



寺山 香織

早島町で成人式を迎えることができ、大変嬉しく思っています。20歳の誓いを忘れず、お世話になった皆様に恩返しができるよう頑張ります。



星島 光紀

この度成人式という人生の節目を迎え改めて新成人として社会に貢献できる立派な大人になりたいと思います。

◆編集後記◆

新しい年が明け、はや3月に入りました。

早島町議会では3月に議会基本条例に基づき、平成29年度の議会報告会をゆるびの舎研修室にて3月25日(日)午後1時30分より開催いたします。今回の報告会は前回と同じくワークショップ方式で10年先の早島を皆様とともに一緒に考え、楽しい会として実施を予定していますので御参加をお待ちしております。また今年度は議会議員改選の年でもあります。町民皆様と共に、今後の早島町の町づくりをどうしていくのか、町執行部とともに議員は何をすべきか、しっかりと考え行動し、皆様の付託に応えなければならぬと感じております。

議会広報特別委員会